

農作物病害虫発生現況情報（9月） りんご編

1 斑点落葉病

(1) 9月後半の巡回調査での発生園地率は、ふじ、王林ともに平年並であった(図1)。

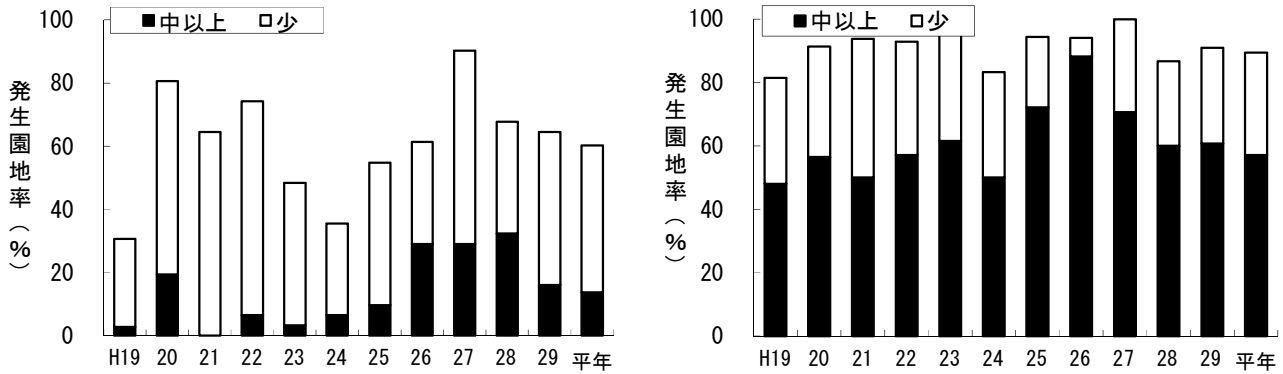


図1 斑点落葉病の発生園地率の推移(左図 ふじ、右図 王林・9月後半、徒長枝全葉)

2 褐斑病

(1) 9月後半の巡回調査での発生は、発生園地率、発生程度ともに平年より非常に高かった(図2)。

3 黒星病

(1) 9月後半の巡回調査では、一部の園地で発生が確認された(図3)。

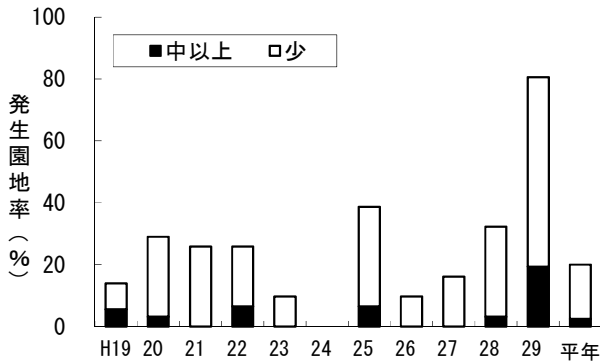


図2 褐斑病の発生園地率の推移(9月後半)

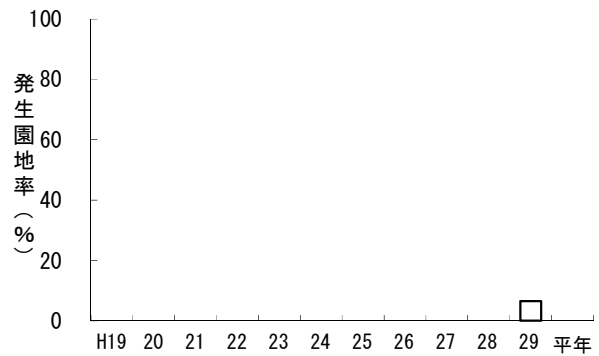


図3 黒星病の発生園地率の推移(9月後半、葉)

4 果実病害

(1) 9月後半の巡回調査では、輪紋病の発生園地率は平年よりやや低かった(図4)。

(2) 9月後半の巡回調査では、炭疽病の発生園地率は平年より低かった(図5)。

(3) 9月後半の巡回調査では、すす点病の発生園地率は平年よりも高く、すす斑病の発生は確認されなかった(図6、図7)。

(4) 9月後半の巡回調査では、黒点病の発生園地率は平年よりもやや高かった(図8)。

(5) 9月後半の巡回調査では、黒星病の発生が一部の園地で確認された(図9)。

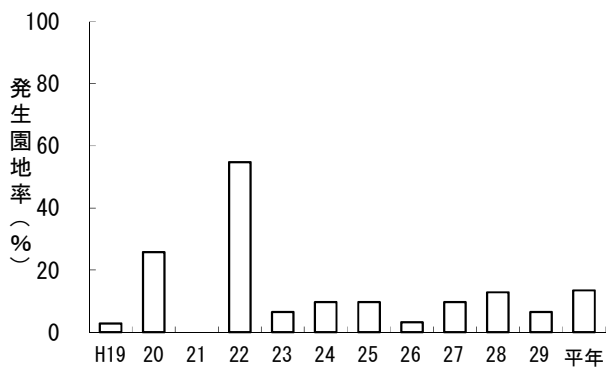


図4 輪紋病の発生園地率の推移 (9月後半)

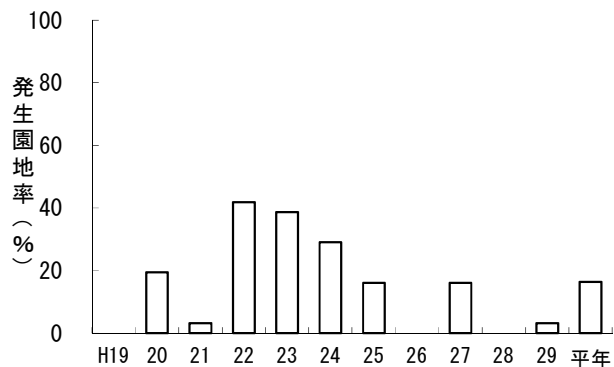


図5 炭疽病の発生園地率の推移 (9月後半)

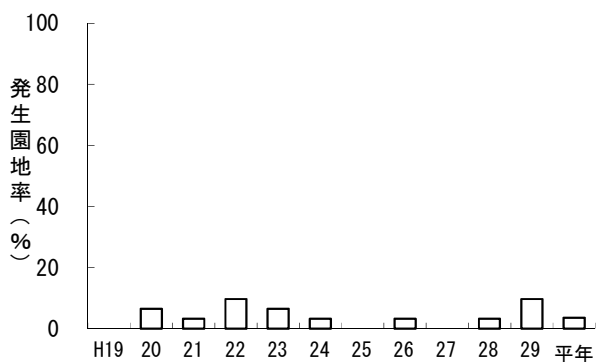


図6 すす点病の発生園地率の推移 (9月後半)

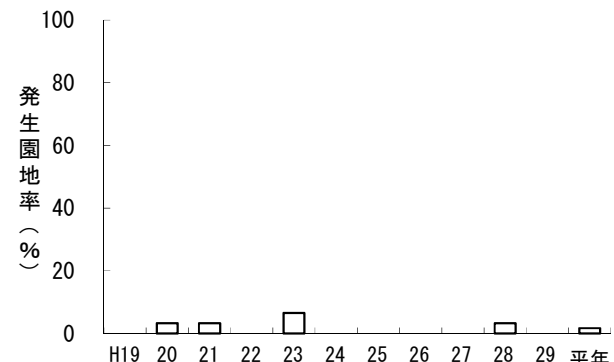


図7 すす斑病の発生園地率の推移 (9月後半)

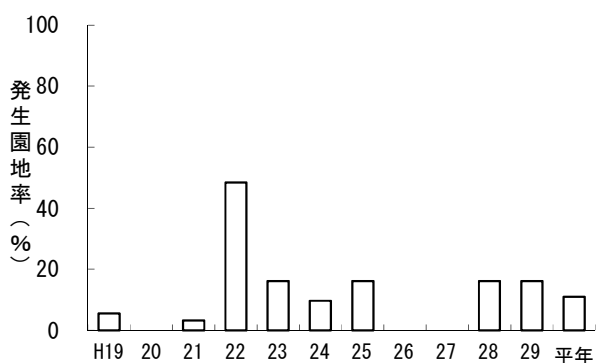


図8 黒点病の発生園地率の推移 (9月後半)

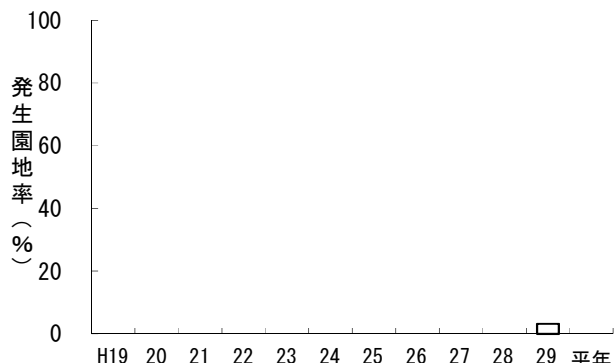


図9 黒星病の発生園地率の推移 (9月後半)

5 ハダニ類

(1) 9月後半の巡回調査での発生園地率は、ナミハダニは平年よりやや低く、リンゴハダニは平年よりやや高かったが、両種とも発生程度が中以上の園地は確認されなかった(図10)。

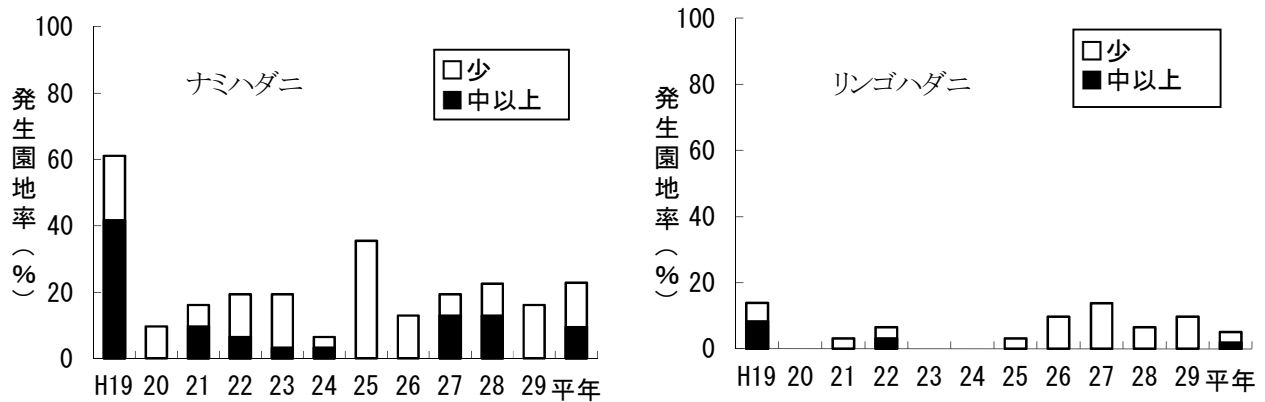


図10 ハダニ類の発生園地率の年次推移(9月後半、目通り)
(10頭/10樹以下は発生無しの扱い)

6 ギンモンハモグリガ

(1) 9月後半の巡回調査での発生園地率は、平年より低かった(図11)。

7 シンクイムシ類

(1) 9月後半の巡回調査での発生園地率は、平年よりやや低かった(図12)。

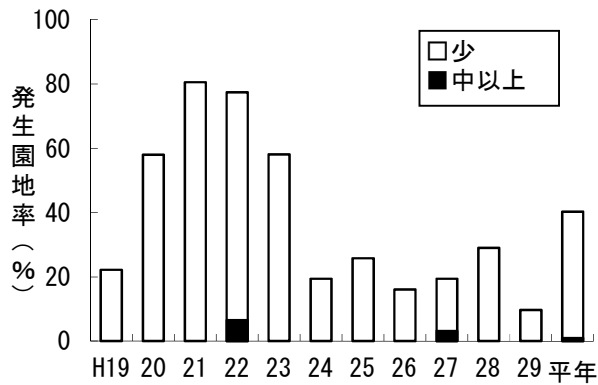


図11 ギンモンハモグリガの発生園地率の年次推移(9月後半)

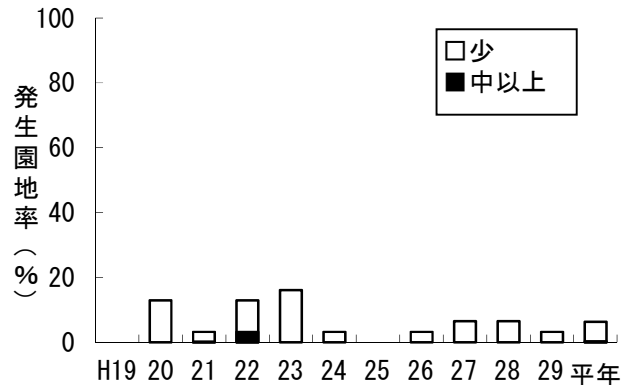


図12 シンクイムシ類による被害果発生園地率の年次推移(9月後半)

8 果樹カメムシ類

- (1) 9月後半の巡回調査での被害果の発生園地率は、平年並であった(図13)。
- (2) クサギカメムシの子察灯への誘殺数は、平年よりやや多い~平年並であった(図14)。
- (3) チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は、いずれの地点でも平年より少なかった(図省略)。

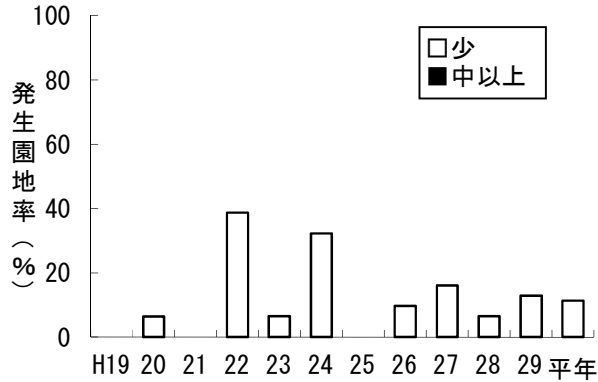


図13 果樹カメムシ類による被害果発生園地率の年次推移 (9月後半)

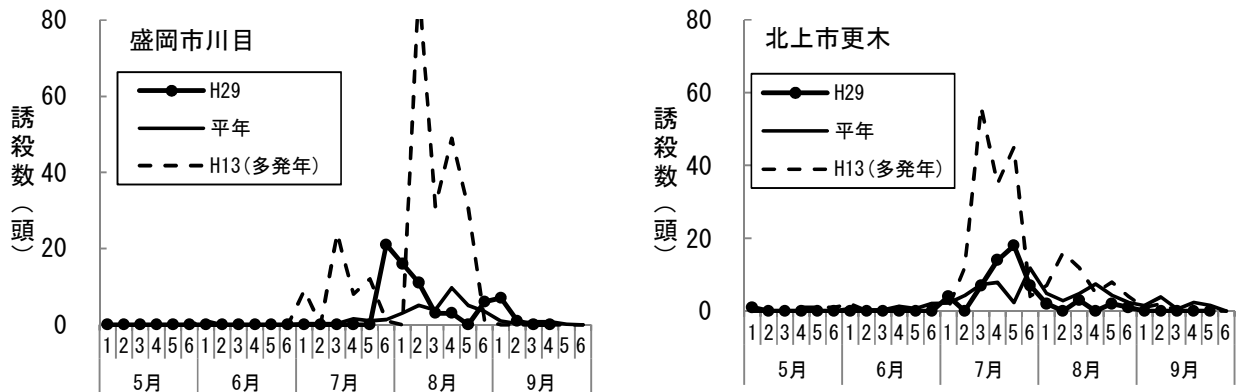


図14 クサギカメムシの子察灯への誘殺状況